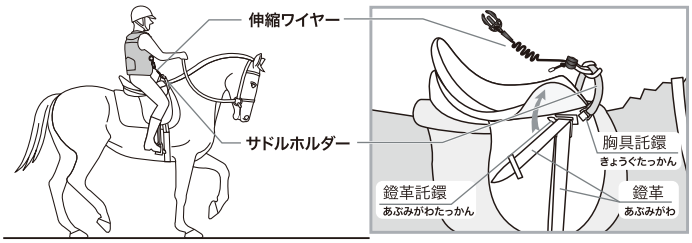
5-3 伸縮ワイヤーの鞍への固定接続方法

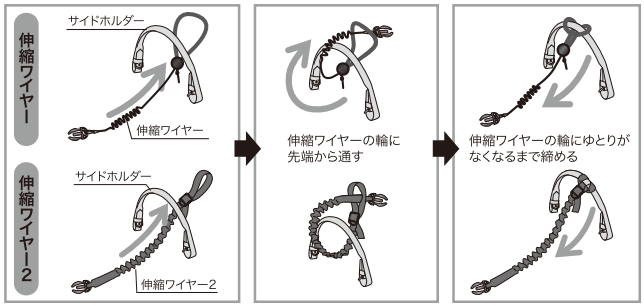
1. サドルホルダーへの取り付け

伸縮ワイヤーの接続は、鞍に付いているサドルホルダーの中央部に固定します。



サドルホルダーへの伸縮ワイヤー装着方法 (注意3、4、5参照)

サドルホルダーの付いていない鞍はあらかじめご用意下さい。



注意 1. 伸縮ワイヤーの接続が不完全の場合、伸縮ワイヤーが伸びきった状態で、その接続が外れてしまい作動しない恐れがあります。

注意 2. 伸縮ワイヤーに異常(傷、ひび割れ等)が発見された場合はすぐに新しいものにお取り替え下さい。(※当社指定以外の伸縮ワイヤーは使用しないで下さい)

注意 3. サドルホルダーにひび割れなどの劣化しているものや強度の無いものは使用しないで下さい。サドルホルダーが切れてエアバッグが作動しない恐れがあります。
胸具託鐶に錆などの劣化しているものは使用しないで下さい。
サドルホルダーが根元からはずれ、エアバッグが作動しない恐れがあります。

注意 4. サドルホルダーの中央部に取り付けても、固定箇所がないため左右にずれ作動が遅れる場合があります。

注意 5. 胸具託鐶へ伸縮ワイヤーを直接取付けるのはおやめ下さい。
胸具託鐶(サドルホルダー取付け用金具)へ伸縮ワイヤーを直接取付けると作動の際に金具が破損したり、根元からはずれてエアバッグが膨らまない場合があります。

4-6 CO^2カートリッジボンベの取扱い

○カートリッジボンベ内には炭酸ガス(CO^2)が充填されています。

○キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と連動し、カートリッジボンベの底部(封印板)に穴を開けて、カートリッジボンベ内のガスを各気室へ送り込みます。

○一度作動(使用)したカートリッジボンベは使用できません。
(使用済カートリッジボンベは底部(封印板)に穴が開いています)
未使用の新しいカートリッジボンベとお取り替え下さい。

○カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りないと針がカートリッジボンベ底部(封印板)に届かず作動しない場合や、作動してエアバッグが膨らんでも数秒後に遅れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。
カートリッジボンベの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい。

下記の注意事項を守って下さい。破裂の危険性があります。

警告 **1. カートリッジボンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。(高温となる車中などでの保管はおやめください。)**

警告 **2. カートリッジボンベに強い衝撃を与えないで下さい。**

警告 **3. カートリッジボンベを加熱しないで下さい。**

警告 **4. カートリッジボンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は新しいものとお取り替え下さい。**

警告 **5. 使用済のカートリッジボンベはガスがはいっていない事を確認してから廃棄して下さい。**

警告 **6. カートリッジボンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめ下さい。**

警告 **7. モデルによってカートリッジボンベのサイズ(容量)が異なります、交換の際は必ずモデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。
不明な場合は、当社ホームページの「交換用ボンベサイズ表」を参照下さい。
www.hit-air.com**

注意 8. ヒットエアー以外の用途で使用しないで下さい。

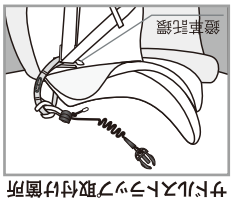
注意 9. ヒットエアー製カートリッジボンベ以外は使用できません。

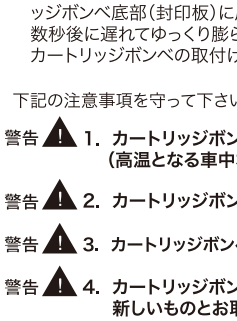
注意 10. 子供の手の届かない所でご使用、保管して下さい。

注意 11. 通常時(使用時)は、セットしたカートリッジボンベを回して緩めたり外したりしないで下さい。

注意 12. 再生作業等でカートリッジボンベを外した場合、カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際、根元までいっぱいにねじ込んで下さい

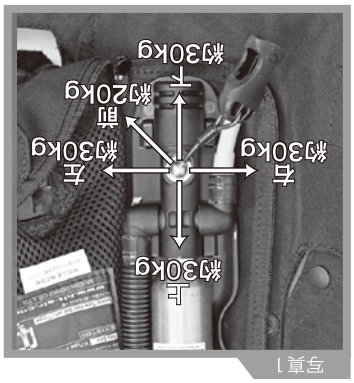
5-4 伸縮ワイヤー取付け方法



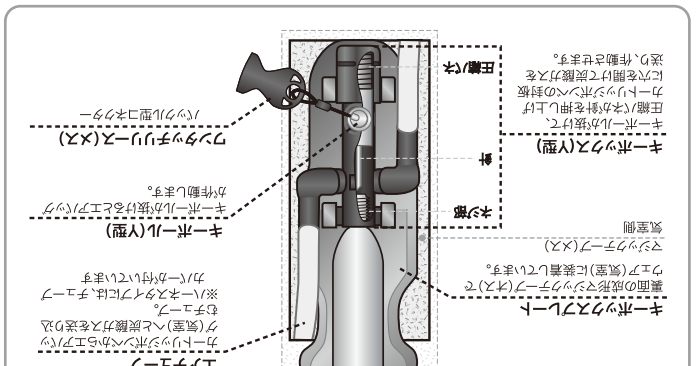


4-3 キーボックス《V型》 VKKK共同開発したV型キーボックス

(写真1)この装置は、通常約20kg～30kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力によって、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込んである圧縮バネが針と連動し、カートリッジボンベの封板に穴をあけてガスを送り作動させます。
着用時、前方どの方向からも引っ張ってもキーボールが抜けず仕組となっています。



警告 1. キーボックスを分解したり、部品をはずさないでください。

注意 2. 通常時はカートリッジボンベを緩めたりはずしたりしないで下さい。キーボックスの取付けネジ部分に根元までいっぱいにねじ込んでください。

キーボックス構造